

事業所名		公表日				
ルブシ		2025 年 11月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	4	・机上課題に取り組むスペース、粗大運動のスペース、個別レッスンのスペースなどに分けるなど、限られたスペースを工夫して使用できている。 ・外活動がメインの事業所なので、室内では活動内容を工夫しながら過ごしている。	トイレがもう一つあると良いが、一般住宅のため改修工事は難しく、使用方法の工夫が課題である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	基準人員の約3倍の職員を配置している。	職員の業務が多岐にわたり、配置が足りていないと感じることがある。職員一人ひとりが役割を認識し、効率的に動くことが課題である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	・大きなホワイトボードや、ベビーゲートを設置するなどの工夫ができている。 ・食事スペース、体を動かすスペースを分けて配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・活動内容によって、部屋を移動するなど工夫できている。 ・視覚情報を少なくし、落ち着いて過ごせる環境を整えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・別棟で個別支援ができるようになった。 ・別棟があることにより、環境が整備されている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	月1回の職員全体会議で確認できている。	・全職員の意見が反映できるよう工夫が必要である。 ・日々の業務に流されることなく、振り返りを習慣化することが課題である。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・保護者の意向等を職員全員が共有できるよう、月1回職員全体会議を行い、業務改善に繋げることができている。 ・評価表等を回覧し、把握できるようになっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	職員間ミーティングを行い、内容を記録し業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		現状、第三者による外部評価は受けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・先日の研修時に外部講師による研修があり、職員全員が受講できて、勉強する良い機会を設けられた。 ・個人的にも学ぶ機会を増やし、キャリアアップをしている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・保護者面談をしっかりと行っている。 ・日頃の課題を保護者にもヒアリングし、分析した上で個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	全体会議前にカンファレンス対象児が明記された資料が配布されるため(持ち出し禁止)、事前にその子について各々が考えをまとめられて、意見を出し合えるよう工夫できていると思う。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	4	最新の個別支援計画書がすぐに確認できるように、分かりやすくファイリングしてある。	日々の療育の中で、個別支援計画書を確認するという作業ができていないので、共有できるよう改善が必要である。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	・専門的視点から評価を行い、アセスメントしている。 ・ミーティングに出ていない人にも分かるように、記録書があるので、欠勤後も確認できるよう工夫できている。	特性による行動として捉える知識を、職員全員が学ぶ必要がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2	・とても工夫できている。 ・主担当をローテーションすることで、様々な活動ができている。	室内活動で、体を動かすことや、子どもたちが楽しめることをもっと提案していきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	一人ひとりの課題についてアセスメントし、具体的な支援内容を工夫したり、発達状況に応じて対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	5	・通常業務の中で職員間のコミュニケーションが取れており、チームで連携できている。 ・日案シートを確認し、その日の役割を共有できるよう、工夫できている。	非常勤職員の出勤時間と児童の登所時間が重なるため、支援開始前の打合わせは、できる日とできない日があるので、改善が必要である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	・次回の支援に繋がるように共有している。 ・非常勤職員は、児童帰宅後すぐに退勤となるため難しいが、翌出勤時に共有したり、ラインやメールで共有したり、工夫できている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	ミーティングノートに記録し、支援の検証、改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	毎月1回保護者面談を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	児童の併用先や医療機関との連携は必要に応じて行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	併用先と連携し、児童がより良い方向へ向かえるよう、情報共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	就学先担当者と会議を設定し、3月までに情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	6		機会があれば受けたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		保育所等と併用している児童が多いことと、発達段階や特性も様々であることから、交流会は行っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳で日々の児童の様子を伝え合ったり、月1回の保護者面談で発達の状況や課題について話し合う機会を設けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	定期的に保護者交流会を開催している。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時、見学时に保護者の方に丁寧に伝え、することを心掛けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1		子どもの意思確認をどう行っていくか、工夫が必要である。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	面談時や送迎時に行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	定期的に保護者交流会を開催している。	今後はきょうだい支援の機会を設けたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	事業所内の報連相を徹底し、迅速な対応を心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・入職時に研修があり、重要性を理解することができた。 ・定期的な研修があり、個人情報書類はシュレッダーにかけることや、事業所外持ち出し禁止など留意できている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	近隣の老人ホームさんと一緒に活動するなど、地域の方ふとれあえる機会を設けている。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	業務継続計画書をもとに、研修と訓練を行った。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ミーティング時に職員の意見を共有し、しっかり検討できている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修で学ぶことができた。	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・個別支援計画書に記載している。 ・身体拘束の指針について研修で学ぶことができた。	
--	----	--	---	---	---	--